

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人
日照養徳園

令和4年度日照養徳園事業報告

令和4年度の事業報告を各事業別に報告いたします。

令和4年度においては、コロナ禍においての3年目となり、行動制限は一部緩和されましたが、計画されていた事業の多くが中止や延期となってしまいました。令和5年度では少しでも早く日常生活に戻るよう願っています。

① 地域小規模児童養護施設の安定化

平成22年5月に開設した地域小規模児童養護施設「ひなた」は令和4年度で13年目を終えた所である。

年間を通して入所している児童が大きく入れ替わらない為、落ち着いた生活を継続することができている。令和4年度は5名の児童で生活をスタートし、年度後半に1名新規入所があり6名での生活が続いた。年度末の退所児童はいない為、令和5年度はこの6名での生活がスタートします。

一方では卒園生へのアフターケアの対象児童も増えているが、連絡がつかなくなる児童も出てきている。定期的な連絡は切れない様にしたい。

職員体制のフォローは、地域小規模施設に対する「地域分散化加算職員配置」を活用し令和4年度は6名配置体制が実施できた。令和5年度も同様に6名配置とする。

② 施設の小規模化の推進について

分園型小規模グループケアを令和4年度に開設し児童6名、職員6名配置の体制をとった。本体施設から6名の児童が移動したが、落ち着いた生活をする事ができた。

新たな中長期計画「日照養徳園社会的養育推進計画」は令和2年度から①～⑤でスタートした。

①、②は令和4年度に実施

③については令和4年度から子ども食堂と里親サロンを実施した。

今後④以降についての具体的検討に入るが、令和7年度に向けての「茨城県社会的養育推進計画」の見直しが予定されている為、その内容も踏まえ見直しが必要となる。

【中長期計画】

- ① 令和4年度当初に分園型小規模グループケア施設（定員6名）の開設
- ② これにより本園は定員30名と減員する（本体施設24名+分園6名）
- ③ 令和4年度中には本体に空きスペースができることにより、多機能化事業を実施
- ④ 令和7年度には本園を24名定員（4グループ各6名定員）へ小規模化
- ⑤ 令和11年度には本園を20名定員（4グループ各5名定員）へ小規模化

③ 施設(設備)整備事業関連

- ㊦ AED 機器の買い替え(耐用年数経過による買い替え)

総事業費 363,000円

自己資金 363,000円

- ㊧ 2F 職員室他エアコン交換2台

総事業費 330,000円

自己資金 330,000円

- ㊨ 本園園車の買い替え費用(ステップワゴンからヴォクシーに買替え)

総事業費 1,755,000円

自己資金 1,755,000円

- ㊩ 本体施設の照明の一部LED化(5室のLED化)

総事業費 363,000円

自己資金 363,000円

- ㊪ 地域支援スペースの一部内装リフォーム費用

総事業費 281,600円

自己資金 281,600円

④ 地域や行事関連

養徳園夏祭りの中止

令和3年度同様にコロナ禍において、大人数が集まる行事は不可能と判断し中止となる。但し、令和4年度も園内児童向けのミニ納涼祭を実施する。(外部参加なし)

餅つき大会の中止

夏祭り同様に外部を含め大人数の集まる行事は中止となる。

ただし、12月28日園内児童向けにお餅をつき各グループに配膳しました。

P T A活動について

平成18年度から豊浦小P T A事務局役員(P T A副会長として 大谷恭久)として活動を行い、令和4年度も副会長として参加。(令和5年度も留任予定)豊浦中学校のP T A事務局にも職員が1名参加している。

又、高萩清松高校のP T A事務局監事監査としてもP T A活動に参画しました。(令和5年度も監事監査予定)

⑤ 人事関連

退職者 令和4年度末に児童指導員1名が退職しました
中途採用者 特にいません
新規採用者 特にいません

育児休暇等取得者

育児休暇取得者4名がすべて業務に復帰しました。(時短勤務中)
令和4年度末現在の育児休暇等取得者はゼロです。

⑥ 処遇関連

・不登校児童への対応

令和4年度については登校に関し不安定な児童は複数いたが、遅刻が多い又は登校後の相談室対応で不登校には至っていない。休みがちな状況は残るため、学校との連携を継続していく。

・児童間の暴力的上下関係・いじめへの対応

児童間の暴力やいじめ、又児童から職員への暴言や暴力についても、その場で見逃さない対応をとってきた。新規入所による児童の不安定はあるが、職員の対応により大きな混乱には至っていない。又児童間のトラブルは起きることはあるがその都度話し合いを行い継続的トラブルにはなっていない。職員間の連携がずれないように専門職もフォローしている。

・性的問題行動への対応

近年の傾向としてスマートフォンを介在とした性に関わる事故が発生している。高校生は全員所持しているが夜間は職員に預けることや使用時間、使用場所の制限は継続している。

しかしながら昼間の時間帯(通学時間帯)については使用制限ができない為、日々の行動を注意していきながら、トラブル時に話し合いができるような関係づくりが必要となる。

・基本的生活習慣の取得について

朝起きる事～朝食～登校へのパターン及び、帰園後の生活～就寝までの過ごし方についての乱れは無かった。コロナ禍による食事の個食も緩和しながら、日々の会話が增えるように努力をした。見えてきた課題は常に話し合い改善に向け工夫をしている。

・職員間のチームワークの問題

各G内での会議や、職員会議・処遇会議・給食会議・グループ長会議、グループリーダー会議にて方針を徹底させたことから、職員間での対応のブレは少なくなったが、個別に問題を抱える児童についての関りはまだ個人差がある。主任を中心としてアドバイス

を実施ながら、見直しを行っていく。

令和4年度は地域分散施設が2カ所となり、本体から見えにくい生活スタイルとなったため、配置された「地域小規模施設等バックアップ職員」を中心に連携を深めた。

又、F S W (ファミリーソーシャルワーカー) 担当職員、心理対応職員、職業指導員と各グループとの連携をより充実させ、令和5年度も分散化施設との連携を推進していく。

・外部の人材による処遇向上について

内部職員だけでは、手が廻らない部分について、外部の力を借りてフォローしていくことが必要となっているが、令和4年度もコロナ禍により実施はしなかった。

- (1) 教養娯楽の部分（読み聞かせ、習字、音楽、美術、スポーツ等）
- (2) 学力向上の部分（ボランティアや学生等の力による、学習塾的な場を設け、取り掛かる）

コロナの状況を見据えながら、幅広く受け入れていきたい。

又、中学生の学習塾も積極的に活用して学力向上に役立てた。

今後は集団学習に適応しにくい児童に対し、個別的指導が可能な人材を確保していくことが必要になる。

又、高校生の進学を支援するために、学習塾（進学予備校）利用を推進していくが、措置費の補助（月額20,000円～25,000円）では不足する部分を施設として年間10万円まで予算化した。

⑦ 苦情対応について

令和4年度の苦情受付件数は 0件 でした。

ヒヤリハット報告や事故報告は多数ありますが、苦情につながるような事案はなかった。

⑧ 児童手当（旧子ども手当）の実施

令和4年度も中学生までの入所児童には、各児童に子ども手当が支給されました。

（3歳未満は15,000円/月、3歳以上は10,000円/月）

各児童の預金通帳を作成し、施設が責任をもって管理しています。

高校生のスマートホン購入時の初期費用、月額費用の不足分は児童手当からの支出を認めていましたが、スマートホンの利用料金体系が変化した為、標準的な料金を維持するために、高校生のお小遣いを2000円上乗せして10,000円/月額としました。

これにより、スマートホン費用以外に必要な個別的費用については児童手当から支出可能とすることも検討していく。

⑨ 在籍児童月間推移

令和4年度各月初日在籍児童数（実在籍児童数）

区分	定員	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
本体	30名	男	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	163	13.58
		女	11	11	11	11	11	13	13	15	15	15	15	15	156	13.00
		小計	24	24	24	24	24	27	27	29	29	29	29	29	319	26.58
ひなた	6名	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.00
		女	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17	1.42
		小計	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	65	5.42
合計	36名	合計	29	29	29	29	29	32	32	35	35	35	35	35	384	32.00

令和4年度新規入所児童数 7名

令和4年度退所児童数 3名(高校3年生1名含む)

令和4年度は全体平均 32.00 名の在籍となっているが、地域小規模と本体施設を分けて定員計算が必要となる。

本体施設 定員30名に対し平均入所者26.58名(=切り上げ27名充足率90%)

地域小規模施設 定員6名に対し平均入所者5.42名(5名以上なので、問題なし)

となりました。

令和5年度も本園定員30名、地域小規模施設定員6名、合計定員36名でスタートします。

⑩ 進路関係

高校3年女児・・・就職(陸上自衛隊朝霞駐屯地勤務)

高校3年女児・・・就職(高萩市の介護施設)ただし就労安定まで措置延長

高校3年女児・・・就職(日立市のスーパー勤務予定)就労決定まで措置延長

中学3年男子・・・県立日立工業高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年男子・・・県立多賀高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年男児・・・埼玉県のある建築会社に就職(寮生活で自立)

中学3年女子・・・県立北茨城特別支援学校高等部に進学(日照養徳園から高校進学)

⑪ 寄付金・助成金関係

高校を卒業し進学した児童に対しては、国の補助制度「自立支援資金貸付金制度」があるが、大学中退の不安がある児童の場合は活用していない。

(生活資金月額5万円限度、アパート家賃月額で生活保護の住宅扶助限度)

又、就職する児童に対しては、運転免許取得資金として25万円の借入制度(2年継続就労にて返済免除)や、アパート家賃支援制度があるが、5年間の継続就労の減免条件がある為、不安がある児童については活用していない。

⑫ 第三者評価の検証

令和4年度（令和5年2月）に第3回第三者評価を実施した。

評価内容も毎年変化があることから、その変化に沿って施設としての考え方も改善していく必要があります。令和5年度は自己評価を実施する。

⑬ コロナ対策の実施

令和4年度の日照養徳園においては児童9名、職員11名の陽性者が発生しました。

（これは6回の時期において発生していますので、それぞれは数名の発生となる）

令和4年度においては一部行動制限が緩和されたこともあり、感染経路はほぼ不明でした。

基本児童は学校からの感染、職印は家庭や施設内もありましたが重症化していない為、待機期間を設けることで集団発生には至りませんでした

コロナ対策備品としてとしては、消毒液の確保・マスクの確保・対面作業用のガウン・手袋の確保及び、PCR検査キット、抗原検査キットの準備をしておりましたが、帰宅できない職員が出たため、令和4年度も宿泊施設を確保し、その施設との往復等の対応をしました。また、勤務が変則的になった為、特別手当を支給しました。

以上

事業報告

年	月	日	摘 要		
4	4	1	入社式・新規採用職員研修会		
		3	日立さくらまつり(ライオンズクラブ参加)中止		
		6	中学校入学式 小学校始業式		
		7	小学校・県立高校・特別支援学校 入学式		
		8	職員会議		
		9	茨児協バレーボール・ドッジボール大会(不参加)中止		
		11	給食会議 関東ブロック児童養護施設協議会運営委員会		
		13	茨児協従事者部会		
		15	施設長会議(WEB) 茨児協役員会(WEB)		
		18	処遇会議		
		19	県社会福祉法人経営者協議会理事会		
		20	県社会福祉審審議会児童処遇部会		
		23	小学校参観 中学校参観 特別支援学校参観		
		26	全養協常任協議員会		
		26	処遇会議		
		27	G長会議		
		5	6	6	職員会議
				13	日立市要対協代表者会議
				15	子ども食堂、里親カフェ
	17			処遇会議	
	18			給食会議 茨児協総務委員会	
	19			県社協新任職員研修	
21	小学校運動会				
23	県社会福祉法人経営者協議会総会				
24	G長会議				
27	施設長会議 茨児協役員会				
29	里親カフェ				
6	1			1	関東ブロック児童養護施設協議会研修会
				3	茨児協業務改善WT 季刊児童養護編集会議
		6	職員会議 茨児協総務委員会		
		7	小2校外学習		
		10	県社協理事会 茨児協従事者部会		
		11	中3生修学旅行～13日		
		12	子ども食堂		
		13	県北施設合同研修会		
		17	処遇会議 施設長会議		
		18	日立地区里親会総会		
21	日立管内里親支援会議 中学生市内総体				
22	給食会議 特別支援学校中3修学旅行				

年	月	日	摘 要			
4	6	25	日立北高校文化祭			
		26	里親カフェ			
		27	茨児協里専委員会			
		28	G長会議			
	7	7	1	県北総体 県要対協代表者会議		
			4	職員会議		
			5	里親委託等推進員会 特別支援学校高3修学旅行～8日		
			6	関ブロ児童養護施設研究協議会(埼玉大会)～7日		
			8	茨児協総務委員会		
			9	子ども食堂		
			11	給食会議 茨児協業務改善WT		
			14	処遇会議		
			15	豊中授業参観 施設長会議 茨児協役員会		
			20	終業式		
			22	園内夏まつり→延期となる(8月23日へ)		
			25	だいち行事		
			26	県社協研修会～27日		
			27	G長会議		
			8	8	2	施設長会議
					10	茨児協従事者部会
					16	日立市管内里親支援会議
					17	茨児協総務委員会
					22	県社会福祉予算対策対策委員会 茨児協里専委員会
	23	園内夏まつり 里親支援連絡会				
	25	園内新人研修会				
	26	施設長会議(関ブロ正副会長参加)				
	28	里親の集い				
	29	G長会議				
	30	季刊児童養護編集会議				
	9	9			1	始業式 職員会議 県社会福祉審議会児童処遇部会
					10	SBIブロック別研修会
					12	給食会議 茨児協総務委員会
					15	処遇会議 県社会福祉審議会児童処遇部会
					16	櫛形幼稚園参観日 施設長会議 茨児協各員会
					21	小6生修学旅行～22日
					22	全養協常任協議員会
			24	特別支援学校ほほえみリーグ		
			24	園内新人研修会		
			28	G長会議		
	10	10	1	特別支援学校さわやかスポーツ祭		
			3	職員会議		
			5	関東ブロック児童養護施設協議会職員研修会(WEB)		
			7	里親基礎研修会		

年	月	日	摘 要	
4	10	8	櫛形幼稚園運動会	
		11	給食会議	
		12	茨児協従事者部会	
		13	茨児協総務委員会 (WEB)	
		14	関東ブロック児童養護施設協議会運営委員会	
		16	里親制度説明会	
		17	茨児協総務委員会	
		18	日立管内里親支援会議	
		18	処遇会議 関ブロ研修茨城大会打ち合わせ	
		19	処遇会議	
		22	県社協自立支援資金貸付制度運営委員会 (WEB) 施設長会議	
		23	子ども食堂	
		24	茨児協里専委員会	
		25	公文地区会 日立市児童虐待防止講演会	
		26	園内新人研修会 県社協中堅職員研修会 県審議会里親部会	
		28	関ブロ職員野球大会 (茨城大会)	
		29	杉の子の集い (茨城大会)	
		31	G長会議	
		11	1	職員会議
			3	中学校小松ヶ丘祭
			4	ルゾリボノスリレ
			9	全養協常任協議員会 小学校持久走大会①
			10	全養協全国大会 小学校持久走大会②
			11	小3校外学習会
			14	給食会議 茨児協総務委員会
			16	処遇会議
			17	水戸家裁委員会 日立消防署検査
			18	施設長会議 茨児協役員会 特別支援学校参観
		12	19	子ども食堂
			21	県少子化対策審議会
			24	園内新人研修会
	25		G長会議	
	29		季刊児童養護編集会議	
	1		職員会議	
	3		子ども食堂	
	5		給食会議 茨児協総務委員会	
	7		県北研修会会議	
	8		豊浦中参観 県社協理事会	
	11	里親サロン		
	14	処遇会議 茨児協従事者部会		
	16	施設長会議 (WEB)		
17	子ども食堂			
20	日立管内里親支援会議			

年	月	日	摘 要
4	12	21	G 長会議
		22	園内新人研修会 全養協常任協議員会
		23	終業式
		24	園内クリスマス会
		26	茨児協里専委員会
		27	関東ブロック児童養護施設協議会運営委員会
		28	園内餅つき会
		5	1
5	あさひ行事		
6	そら行事		
8	たいよう行事		
10	始業式		
11	職員会議		
12	県指導監査		
15	子ども食堂		
16	給食会議 茨児協保育指導委員会研修会		
17	処遇会議		
20	豊小新入生保護者説明会 茨児協年情報交換会		
24	茨児協総務委員会 (WEB)		
25	県審議会児童処遇部会		
26	園内新人研修		
27	幼稚園参観 G 長会議		
29	子ども食堂		
30	県北施設研修会 全社協 FSW 研修会 県少子化対策審議会		
2	2		職員会議
	3		市町村向け里親制度説明会
	7		小6 新入生保護者説明会 茨児協事務委員会研修)
	8		給食会議 茨児協従事者部会
	9		茨児協業務改善 WT
	10		県社会福祉審議会里親部会
	11		たいよう行事 全社協 FSW 研修会
	12		子ども食堂
	13		県北施設研修会 茨児協総務委員会
	14		県少子化対策審議会
	15		処遇会議
	16		いばじきょうカフェ
	17		施設長会議 (WEB)
	18		豊小参観
	20		全養協常任協議員会
	21	第3者評価① 園内新人研修会 日立管内里親支援会議	
22	第3者評価② 基幹的職員研修会		
23	消防訓練		
24	G 長会議 豊中参観		

年	月	日	摘 要
5	2	25	子ども食堂 ひなた行事
		27	茨児協里専委員会
		28	季刊児童養護編集委員会
	3	1	県立高校卒業式
		2	職員会議 退職手当支給制度運営委員会
		3	県立高校入試 全養協協議員総会
		7	季刊児童養護編集会議 里親委託等推進委員会
		9	関東ブロック児童養護施設協議会運営委員会
		10	特別支援学校卒業式 茨児協業務改善 WT
		13	中学校卒業式 全養協中堅職員研修会 茨児協総務委員会
		14	県立高校合格発表 給食会議
		15	処遇会議
		16	福祉人材センター運営委員会
		17	施設長会議 茨児協役員会
		23	小学校卒業式
		24	小中終了式
		27	県労働者福祉協議会来園
		29	G長会議